

雨にも負けず駆け抜ける

第43回登別こいのぼりマラソン



▲最後の力を振り絞りゴールへ向かう子どもたち



▲号砲とともに笑顔で走り出すランナー

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



5月13日(日)、市営陸上競技場を発着地点として『第43回登別こいのぼりマラソン』(同実行委員会主催)が開催されました。

この日は、あいにくの雨模様となりましたが、市内外から約900人のランナーが市営陸上競技場に集結。スタート前の開会式で、合田和彦実行委員長から「日頃の鍛錬の成果を十分に発揮して、ぜひ完走してください」と鼓舞された参加者は、幼児400名や3歳・5歳・10歳の4種目に分かれたそれぞれのコースで健脚を競いました。

今年も3人でチームを組み、個人の合計タイムを競う『団体戦』が行われたほか、『コスプレランナー』には特別賞が用意され、沿道に集まった多くの市民は、ゴールを目指すランナーたちに温かい声援を送っていました。

3歳親子部門にお母さんと参加し、見事ゴールした若草小学校1年生の原明愛さんは、「暑かったけど楽しかった」と雨と汗でぬれながらも、元気いっぱい話してくれました。

山菜採りよりも大切なものがあります

山菜採りによる遭難事故防止啓発看板設置

雪解けが進み、草花が芽を出し始める時期を迎えた4月25日(水)、市は遭難事故防止を呼び掛ける看板を上登別町や鉾山町に設置しました。

市内では、山菜採りに出掛け、遭難する事故が後を絶たず、平成28年度は3件、平成29年度には4件発生しており、命に関わる事故も発生しています。毎年のように入山しているから大丈夫といった油断は禁物です。気象情報を確認し、悪天候の場合は中止する、行き先や帰宅予定時間を家族に伝える、携帯電話や非常食などを携行するなどの心掛けをお願いします。



▲『NPO法人キウシト湿原・登別』のメンバーから動植物の説明を受けることができるキウシト湿原



市街地に残る原風景

『キウシト湿原』開園

4月21日(土)、冬期間休園していた『キウシト湿原』がオープンしました。

市は、市内にある良好な景観で豊かなみどりの一つとして、環境省の『日本の重要湿地500』に選定されており、希少な野生生物や約290種類ほどの植物が生息しているキウシト湿原を第1号の『登別景観・みどり遺産』に指定しています。

住宅街の片隅に残された登別の原風景を見ることが出来る同湿原は、11月18日(日)までの9時30分から17時まで(原則月曜日が休園日)開園していますので、多くの皆様のご来園をお待ちしています。



▲遭難事故が多発している地域に設置した看板